

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所ひまわり		
○保護者評価実施期間	2025年1月14日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2025年1月14日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同一法人が運営しているこども園の卒園児の利用であり、同一敷地内でもあるため、子どもたちにとって安心できる環境である。	こども園と出入口を別に設けている。 放デイの子どもたちの戸外遊びの場を専用に設置している。 安心して安全にすごせる場の提供をするため、環境を整える。	仕事を持って日々忙しくされている保護者なのですが、保護者の声を聞くことができるよう考慮したい。 安心して安全な場所であるよう、物的・人的な環境をより整えていきたい。
2	学習支援	一対一、一対二の割合で学習に寄り添っている。 その日の一人一人の体調、情緒面に配慮しながら進めていく。	一人ひとりの子どもの持っているしんどさをより理解し効果的な支援を見出す。自立支援協議会、発達支援に関する研修会に参加したり、関係機関との連携で、いろいろな情報をもらい、個々の課題の適切な支援に努める。
3	1 F 運動遊びの場 2 F コーナー遊び…カード・ボードゲーム、絵本図鑑 積木LaQ、造形等のコーナー 屋外遊び場	子どもたちがしたいという遊びを選ぶことができるよう、職員間で連携して危険のないよう人的な配置を考える。	色々な活動を通して、友達とのより良い人間関係を気付き、活動が楽しかった!できた!と感じ、達成感・自己肯定感・人への愛着等の気持ちが育つよう、さまざまなあそびや活動の提案・準備ができるよう、研修会・職員会議等で職員の質の向上に勤める。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開設して5年になろうとしています。今までの取り組み等の振り返りが必要であると切に思っています。学校への迎えの時間を含めて、大体の児童が週2日、3時間程度の利用です。限られた時間でどのようにしたら一人ひとりの子どもに効果的な支援ができるのか、大きな課題です。	放デイはパートの職員の人数が多く、役割も大きい。	パートの職員を含めた支援会議、研修の充実を図り、情報共有し、連携した支援をしていきたい。 職員の質の向上、専門性を高められるよう参考になる取組を他の施設や関係機関から情報を得る。
2			
3			